

2011年4月4日
(社)日本衛生材料工業連合会
全国紙製衛生材料工業会

「福島第一原子力発電所事故に関しての製品の安全性について」

福島第一原子力発電所の事故により、一部の飲料水や農産物から放射性物質が検出されたことに関して政府発表、報道等がなされております。これらの情報により、子供用紙おむつ、大人用紙おむつ、尿とりパッド、生理処理用品（ナプキン・タンポン）パンティライナーなど（以下：当該衛生用品）の安全性につきましても、消費者の皆様にご心配をおかけしておりますが、以下にお示ししますように安心してお使いいただけますので、今まで通りご愛用いただきますようお願いいたします。

- ① 当該衛生用品の生産過程においては、水を直接製品に使用することはまったくなく、懸念される使用水からの放射性物質が製品に入ることはありません。
- ② 当該衛生用品は、外部からのちり、ほこりが入りにくい生産環境で製造し梱包されるため、大気中に放出された放射性物質が製品に入ることは極めて少ないと考えます。また、製造後におきましても、製品はパッケージ・ダンボールで梱包されておりますので放射性物質が直接製品に入ることは極めて少ないと考えます。
- ③ 当該衛生用品は、日本政府から健康被害を考慮して発信されている、避難指示区域並びに自主的な避難の呼びかけ区域内では製造されておられません。そのため現時点では、製造環境の面からの製品の安全性においては、問題は極めて少ないと言えます。

以上の理由から、(社)日本衛生材料工業連合会、全国紙製衛生材料工業会は、今回の福島第一原子力発電所の事故で、大気中に放出された放射性物質が原因で、当該衛生用品が消費者の健康に影響を与えることはないと考えます。

(社)日本衛生材料工業連合会、全国紙製衛生材料工業会の会員各社は、今後も政府等から公表される情報等に十分に注視し、引き続き、消費者の安全を第一とした生産活動を進めてまいります。

以上